

第6回会議における修正意見と「中間まとめ（修正案）」への反映箇所

番号	頁	第6回会議における修正意見	中間まとめ(修正案)	
			区分	修正の概要
①	3	保護者、あるいは家庭の役割について、記載されていない。付け加えることにより、全体として学校、家庭、地域の視点が網羅される。	追記	意見のとおり修正 ・家庭における役割、学校と保護者の連携について記載
②	3	生徒が主体的に生き生きと学校生活を送るためには、教員が生き生きとしていなければならないという、教員の姿勢についての記述を加えるべき。	追記	意見のとおり修正 ・教員の姿勢について記載
③	4 ・ 6	P3の「1」と「2」が同じタイトルとなっている。章番号や構成を変えて、重複しないようにするべき。	構成 変更	意見のとおり修正 ・構成と項目タイトルを変更し、タイトルの重複を解消
④	4	P4の「郷土の文化を知り」は、「郷土の文化や歴史を知り」と記載するとよい。 今、歴史感覚のようなものが乏しい人が多い。	語句 修正	意見のとおり修正
⑤	4	P4の「科学、文化、スポーツなど」について、科学者だけでなく、技術者になる人もいるので「科学技術」と表現するとよい。 アンケートでは芸術について多く出ているので、「芸術」も加えるとよい。	語句 修正	意見のとおり修正 ・「科学技術、文化・芸術、スポーツなど」と記載
⑥	19 ～ 26	・P6の参考の「生きる力」、「国際バカロレアの学習者像」を本文に入れるかどうか整理する必要がある。(本文から外して「注」として記載するべき) 資料番号4のアンケート結果も同様に整理する必要がある。	構成 変更	意見のとおり修正 ・「生きる力」、「国際バカロレアの学習者像」及びアンケート結果を「資料編」に記載
⑦	7	P7の「目の前の地域の職業、・・・、目標となる職業を見出す」について、生徒は目の前の職業の中だけから将来の職業を見つけるものではない。	追記	意見のとおり修正 ・様々な職業に触れたりする機会を設けることを記載
⑧	7	P7の「大学などへの進学を希望する生徒に対しては、基礎基本を確実に身に付けさせ」の「基礎基本」と全ての生徒に身に付けさせる「コア」とが混同されることがない表現にするべき。	追記	意見のとおり修正 ・「基礎基本」の前に内容を限定する語句を記載
⑨	7	P12の「生徒が学ぶ意欲を高める環境の充実に努める必要がある。」について、長時間の通学や公共交通機関の便が少ない状況の生徒への配慮についても記述する必要がある。	追記	意見のとおり修正 ・通学に係る生徒の負担への配慮について記載
⑩	8	高等学校教育における特別支援教育の視点も盛り込む必要がある。 P11の定時制・通信制課程の中で、中途退学者や不登校傾向のある生徒について、記載があるが、様々なサポートを必要としている生徒については、必ずしも定時制・通信制だけではない。	追記	意見のとおり修正 ・特別支援教育の視点を記載

番号	頁	第6回会議における修正意見	中間まとめ(修正案)	
			区分	修正の概要
⑪	9	P 9の「基礎・基本の力(コア)」について、「コア」は、中央教育審議会高等学校教育部会において使われている語だが、当該部会の中で意味が定まっていない。この言葉を使うかどうかを含めて整理する必要がある。	追記	意見を踏まえ修正 ・「全ての高校生が共通して身に付けるべきもの(コア)」に修正 ・「資料編」に「コア」についての参考事項(中央教育審議会高等学校教育部会第14回配付資料に基づき作成)を記載
⑫	9	P 9の「基礎・基本の力(コア)を育成する学校」と「生徒の多様なニーズに対応する学校」との違いが分かるように記載する必要がある。	構成変更 ・ 語句修正	意見のとおり修正 ・項目の構成を変更するとともに内容を整理 ・(1)にコミュニケーション能力や社会的なマナーを追記
⑬	10	P 10で、中山間地域における高等学校教育について、都市部と中山間地域の違いに留意する必要があるとの記述にとどまらず、中山間地域に所在する小規模校の教育の充実の視点も盛り込む必要がある。	追記	意見のとおり修正 ・中山間地域や島嶼部における高等学校教育の充実の視点を記載
⑭	10	P 10の「高校3年間を通じて学ぶ中で」について、定時制・通信制の修業年限は3年以上であるから、「高校3年間」との表現を修正するべき。	削除	意見のとおり修正 ・内容を整理し、この語句を削除
⑮	10	部活動で高校選択をする生徒も多いので、部活動による「特色づくり」も記載するべき。	構成変更	意見のとおり修正 ・構成を変更するとともに、内容を整理
⑯	11 ～ 16	P 10～13の「2求められる高等学校の方向性」について、全・定・通の課程別か、特色ある学校を個別に挙げるか検討するべき。また、(1)～(4)について構成を整理する必要がある。	構成変更	意見のとおり修正 ・構成を変更するとともに、内容を整理
⑰	11	P 10の「(2)特色のある高等学校」は「2求められる高等学校の方向性」についてであることから、例えば「各高等学校における特色づくりの推進」のような方向性を示すタイトルにするべき。	構成変更	意見のとおり修正 ・構成と項目タイトルを変更するとともに、内容を整理
⑱	11 ～ 16	P 10～12のア～エの順番について、全・定・通の課程、あるいは普・専・総の学科の順で記述するなど検討してはどうか。	構成変更	意見のとおり修正 ・構成を変更するとともに、内容を整理
⑲	11	P 12の「(3)コアを重視しつつ、コース制などにより特定の機能を強化する高等学校」が、普通科に限定したものであれば、ア～エと同じレベルの項目とするべき。	構成変更	意見のとおり修正 ・構成を変更するとともに、内容を整理

番号	頁	第6回会議における修正意見	中間まとめ(修正案)	
			区分	修正の概要
⑳	11 ～ 14 ・ 28	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 11～12 の農業科及び工業科に関する記述とその他の学科の記述の分量のバランスが悪い。 ・ インタビュー結果は、本協議会の協議を補足するものであることから、その扱いを整理する必要がある。 	構成 変更	意見のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容を整理 ・ 委員以外の有識者へのインタビュー結果であることを明確にするため、枠囲みで記載(「資料編」にインタビューの実施状況を記載)
㉑	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合学科についての記述が必要。 	追記	意見を踏まえ修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の意見(提出資料)に基づき、内容を作成
㉒	15	P 11 の「現在の定時制課程の多くは、・・・」について、全日制と定時制の併置の状況の改善策として、定通併置校を設置することが挙げられているように読める。 意味が明確になるように、修正するべき。	語句 修正	意見のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容を整理
㉓	15	P 10 の「中高一貫教育校の新たな設置については、・・・検討する必要がある。」は、肯定的な意見のみを持って記載されている。 また、「次のような意見もあった。」として記載された意見(P 11)のうち、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会の附帯決議の趣旨を尊重することや、 ・ 新たな併設型中高一貫教育校の設置の際、私学との役割分担や区域内の私立高等学校の配置状況を考慮すること は、文言を追記した上で、中間まとめで取りまとめられた意見として記述するべき。	構成 変更 ・ 追記	意見を踏まえ修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高一貫教育校の新設の検討に当たって考慮すべき事項として記載 ・ 「区域内の私立高等学校の配置状況を考慮すること」は、P 17(4行目～5行目)の「(1)公立高等学校の役割」に記載
㉔	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 13 の(1)～(3)について、タイトルが「国・公・私立高等学校の役割」であるから、国・公・私立の順での記載としてはどうか。 ・ 国立、公立及び私立の記載の順は、在籍生徒数の多い順に記載するとよい。 	構成 変更	意見のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立、公立及び私立のそれぞれの学校の記載については、在籍生徒数の多い順(公立、私立、国立の順)とする ・ 「国・公・私立高等学校」の表記はそのまま使用
㉕	17	P 13 の「(2)私立高等学校の役割」で、「中高一貫校」や「独自の教育理念」の文言を入れ、内容を明確にする必要がある。	追記	意見のとおり修正
㉖	18	P 14 の「保護者の負担を考慮すると、・・・」の意見を記載するのであれば、現状の学納金格差の是正(保護者負担の軽減)など環境が整う見込みが立つまでは、受入れ比率の調整など環境整備が必要との意見も記載するべき。	構成 変更 ・ 追記	意見のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公私が切磋琢磨し、県全体の教育水準の維持・向上に努める方策に係る意見として、両方を記載
㉗	全体	(全体を通じて)「など」の前に例示が1つしか挙げられていない箇所は表現を検討するべき。	語句 修正	意見のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「など」の削除又は例示の追記により修正

番号	頁	第 6 回会議後に伺った修正意見	中間まとめ(修正案)	
			区分	修正の概要
②⑧	2	下から 3 行目の「苦手」は、(そのままでもよいが,)「不得手」と記載するとよい。	語句 修正	意見のとおり修正 (P 3の「課題であるとした意見」の枠内も修正)
②⑨	12	インタビュー結果の「商業科」の 4 行目「良い専門性」は、(そのままでもよいが,)「優れた専門性」と記載するとよい。	語句 修正	意見のとおり修正
③⑩	13	インタビュー結果の「看護科」の 3 項目のうち、1 番目の項目と 2 番目の項目を入れ替えてはどうか。	追記	意見を踏まえ修正 ・ 2 番目の項目について、1 番目の項目との関係を明確にするために語句を追記 (インタビューを実施した有識者 2 名の方が 1 番目の項目を強く主張されるとともに、このことを前提として、2・3 番目の項目が挙げられていることから、記載順は修正案のとおりとしている)
③①	15	(1～4 行目にかかわって) 定時制により、自分を取りもどし、大学に進学し、大学で成績優秀の表彰を受け、いいキャリアを進んでいる若者もあり、定時制が多様な生徒の進学先となっている面も評価すべきで、こうしたことを記載してはどうか。	追記	意見のとおり修正 ・ 定時制課程や通信制課程は、今日的にも大切な役割を果たしていることを記載